

# あむあむたまごポンポン すみっコぐらし



## とあつかせつめいしよ 取り扱い説明書 & あみぐるみなどの作り方

この度は、タカラトミー「あむあむたまごポンポン」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前に、この取り扱い説明書（本書）をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。

©2017 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.



たいようねんれい さいいしやう  
対象年齢6才以上

ほごしや かた およ  
保護者の方とお読みください

かんぜん ちん しやう  
乾電池は使用しません。  
NO BATTERIES REQUIRED.

※イラストと写真は実際の商品と多少異なる場合があります。※写真にありますあみぐるみ用の綿とあみぐるみマスコット以外の毛糸とフェルトはセット内容に含まれておりませんのでご了承ください。

### 警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸針は、機能上尖っていますので危険です。
- 毛糸は火に近づけないでください。

### 注意 (ちゅうい)

- 毛糸を首にかけてふざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息などの危険があります。
- 毛糸による事故の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸を指などに巻きつけないでください。血が通わなくなり、危険です。
- 毛糸を編んでいる途中、シリンダー内のペラやフックなどに指や髪の毛や衣服などをはさまれないように注意してください。
- プラスチック袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 思わぬ事故の恐れがありますので、使用後は3才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。

＜使用上のお願い＞ ○ご使用の前に、取り扱い説明書（本書）をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。○性質上、毛が抜けやすいので誤って飲み込まないよう注意してください。○はさみを扱うときは十分注意してください。○プラスチック袋は梱包材ですので開封後はすぐに捨ててください。

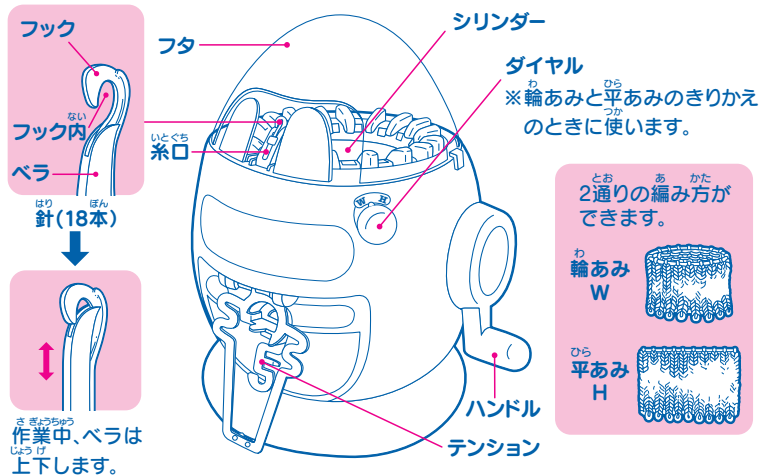
### セット内容

- 本体……………1コ
- テンション……………1コ
- ポンポン糸巻……………1コ
- 毛糸ガイド……………1コ
- 毛糸針……………1本
- 毛糸(茶、白、クリーム、黄緑、水色)各1コ
- 綿……………1コ
- フェルト(茶、白、黄色、水色、クリーム、ピンク、うす茶)……各1枚
- 取り扱い説明書(本書)……1冊

### 目次

- 編みはじめる前の準備……………P1
- 輪あみの編み方……………P2
- 編み終わったら……………P2
- 輪あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方P3
- 平あみの編み方……………P4
- 平あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方 P5
- ポンポンの作り方……………P5
- みっこポンポンマスコットの作り方…P6
- すみっコぐらしのあみぐるみマスコットの作り方P7
- フェルトパーツ……………P14

### あむあむたまごポンポンの各部の名前



### フタのはずし方

フタを左(反時計まわり)にまわし、もちあげてはずします。(セットするときは逆の手順で行ってください。)

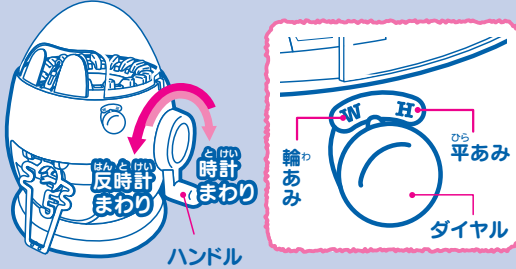
### テンションのつけ方

図のようにテンションのどつぶを本体の穴に片方ずつさしこんでください。

※セット内容の毛糸は「すみっこぐらしのあみぐるみマスコット」をつくるためのものです。練習用はお家にある毛糸で行いましょう。

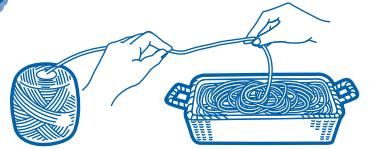
輪あみ

本体を平らなテーブルなどの上におき、  
ダイヤルを輪あみ(W)に合わせます。



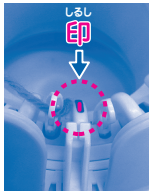
毛糸をほぐしましょう

毛糸は毛糸玉の中心から、  
かごやあき箱などに、  
ほぐして入れましょう。



油性ペンで印をつけよう!

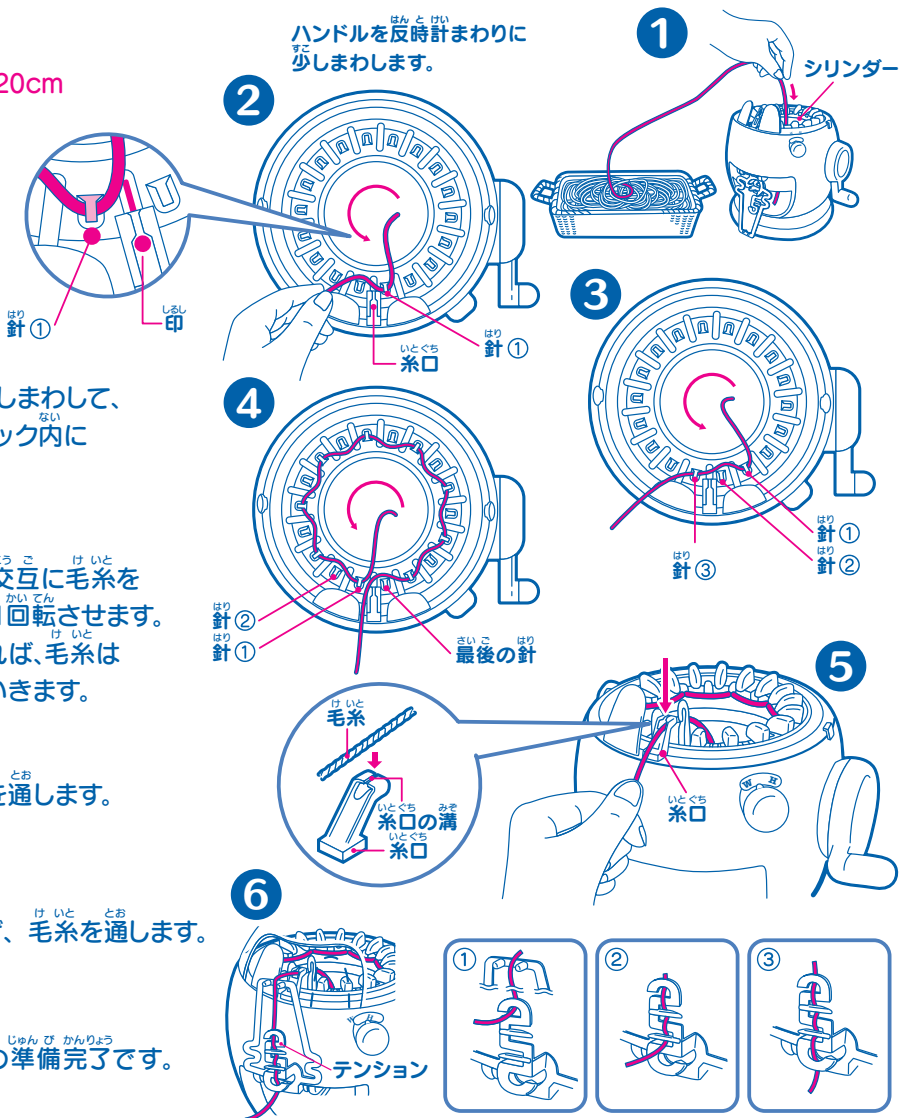
- ①ダイヤルを平あみ(H)に合わせます。
- ②ハンドルを左(反時計まわり)に止まるまでまわします。
- ③止まった位置に油性ペンで印をつけます。
- ④ダイヤルを輪あみ(W)に合わせます。



※遊んでいる途中で失敗したら、はさみで毛糸を切らずに本体からはずして編み終わりをほどこしましょう。

毛糸をセットしましょう

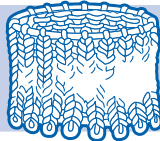
- ①毛糸の先を図のように、約20cmくらい中へたらしめます。
- ②針に毛糸をかけます。糸口の右側にある針①のフック内にかかけます。
- ③ハンドルを時計まわりに少しまわして、針②には通さず、針③のフック内に毛糸を通します。
- ④このように針の前、後ろと交互に毛糸をかけてゆき、シリンダーを1回転させます。正しく毛糸がかかっているれば、毛糸は最後の針の後ろを通っていきます。
- ⑤糸口の溝に、上から毛糸を通します。
- ⑥テンションを上へもちあげ、毛糸を通します。
- ⑦フタをセットして、輪あみの準備完了です。



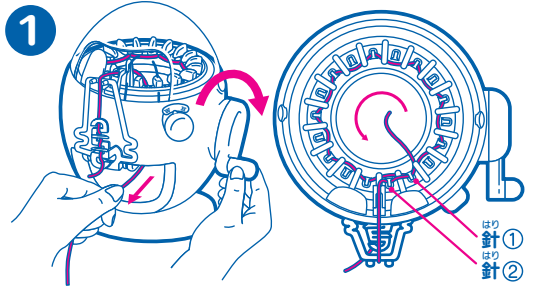
わ あみ かた  
輪あみの編み方

輪あみの仕上がり

編み地の直径約6cm 長さは自由



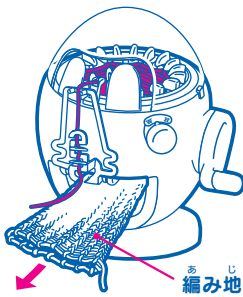
- 1 ハンドルをまわして編んでいきます。  
輪あみのときはいつも、時計まわりにまわしてください。  
最初の2周は中にたらしした毛糸を軽く引っばって、  
ハンドルをまわしてください。



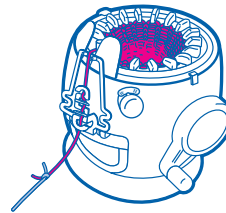
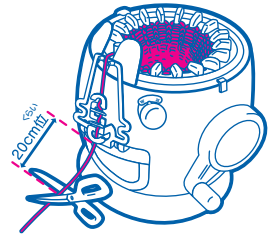
- 注意: ハンドルは乱暴にまわさないでください。  
: ハンドルはゆっくり一定の速さでまわしてください。  
: 本体を左手でしっかりと押さえて、右手でハンドルをまわします。  
: ハンドルを戻したり反時計まわりにまわさないでください。

毛糸がなくなりそうになったり、色をかえたいときは...

- 2 編み地が長くなってきたら手前に出しましょう。  
編み地のねじれはときどきなおしましょう。



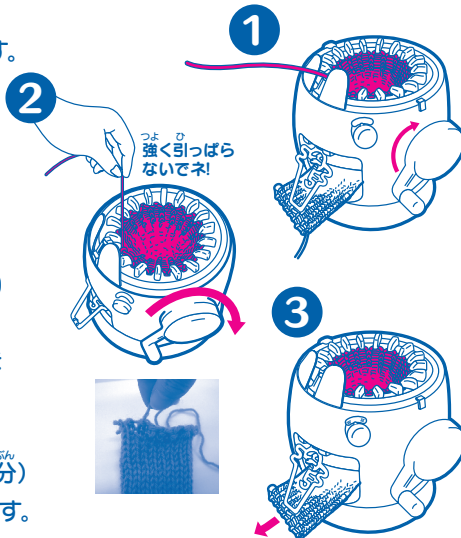
編んでいる途中も、なるべく下から軽く引っばるようにしましょう。  
(ハンドルを数回まわしたら、編み地を下から引っばる...など)



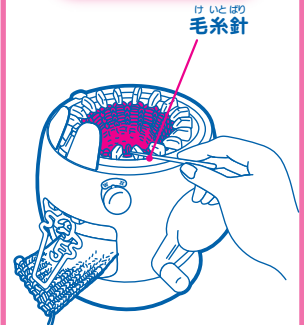
図のように毛糸を切り、新しい毛糸を結びつけます。  
毛糸を結んだら、これまで通りハンドルをまわせば続きを編めます。

あみ おわ  
編み終わったら

- 1 テンション糸口から毛糸はずします。
- 2 毛糸をもって、ハンドルを時計まわりにまわし、1回転させます。
- 3 編みあがった作品は、本体の下の取り出し口からそと取り出します。  
編み目がほどけないように、注意しましょう。
- 4 編み終わりの毛糸をちょうど1段(1周分)ほどき、約20cmを残して毛糸を切ります。



もしも、毛糸が針からはずれないところがあったら、セット内容の毛糸針ではずしましょう。



輪あみの編み終わりのしまつの仕方

★注意：編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけますので、気をつけましょう。

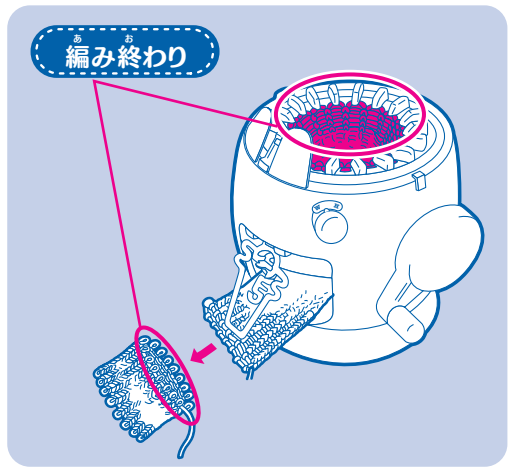
しまつをしやすくするために…

編み終わりの毛糸を通してしやすくするために、本体からはずした後に手で残り糸をゆっくり引っぱって、1段(1周)ほどいってください。  
※毛糸をはさみで切るのは、1段ほどいた後約20cmのところまで切ってください。

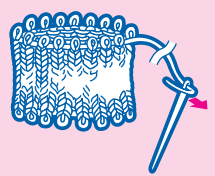


針に毛糸を通しやすくするために…

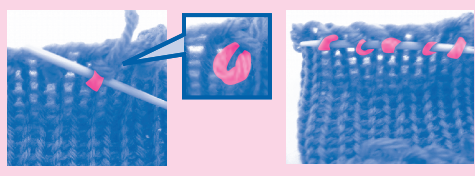
セット内の毛糸針に毛糸を通しやすくするために、毛糸の先にセロハンテープを1回巻いて針穴に通しましょう。  
通したらセロハンテープははずしましょう。



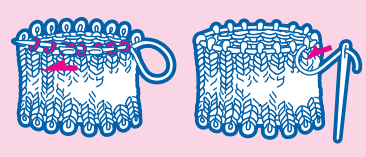
① 残り糸に毛糸針を通します。



② 輪になっている編み目に毛糸針を通します。

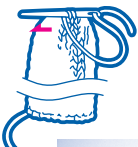


③ 1周すべて毛糸針を通します。



① 1周した後、残った毛糸をゆっくりと引っぱり穴をふさぎます。

② 残った毛糸のとなり2目の編み輪に毛糸針を入れます。



③ 針を通して引っ張り、輪をつくりそこにまた針を通して結びます。

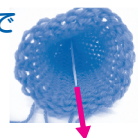


<残った毛糸をかくす場合>

④ てっぺんから毛糸針を内側に入れます。

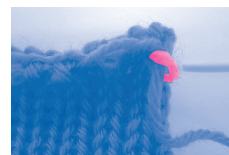


⑤ 内側から通した毛糸を引っぺがります。

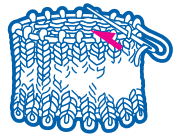


毛糸針を引っぺがる

① 1周した後、最後の編み輪にもう一度針を通します。



② 毛糸針を引っ張り、輪をつくりそこにまた毛糸針を通して結びます。



# 輪あみの編みはじめのしまつの仕方

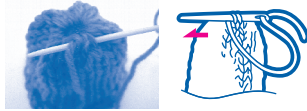
★注意：編み地に1周通す必要はありません。

## しぼる場合

1 残った毛糸をゆっくりと引っ張り、穴をふさぎます。



2 残った毛糸のとなり2目の編み輪に毛糸針を入れます。



3 針を通して引っ張り、輪をつくりそこにまた針を通して結びます。



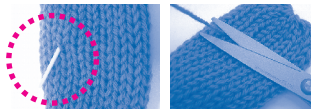
## <残った毛糸をかくす場合>

4 てっぺんから毛糸針を内側に入れます。

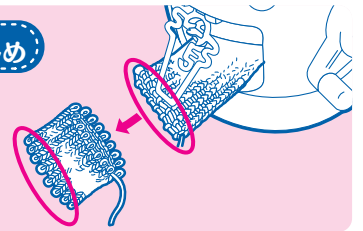


5 内側から通した毛糸を引っぺがします。

※余分な毛糸ははさみで切るか、中に入れます。



## 編みはじめ



## しぼらない場合

1 最後の編み輪にもう一度、毛糸針を通します。



2 毛糸針を引っ張り、輪をつくりそこにまた毛糸針を通して結びます。



# 平あみの編み方

## 平あみの仕上がり

編み地の直径約10cm 長さは自由



1 フタをはずして、ダイヤルを平あみ(H)に合わせます。

2 ハンドルを左(反時計まわり)に止まるまでまわします。

★注意：無理をしてそれ以上まわすと、カチカチという音がしますが、これは安全装置がはたらいた音なので故障ではありません。

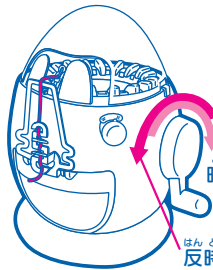
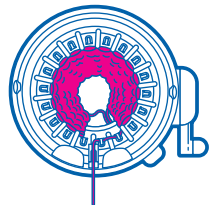
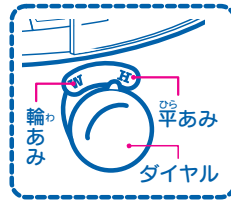
3 編む前にあき箱などにほぐしておいた毛糸を、1ページ<毛糸をセットしよう>の手順を見てセットしましょう。(今度は時計まわりにハンドルをゆっくりまわします。)

4 平あみはハンドルが動かなくなったら、今度はハンドルを左(反時計まわり)にまわし、止まったらまた時計まわりにまわします。この作業をくり返します。

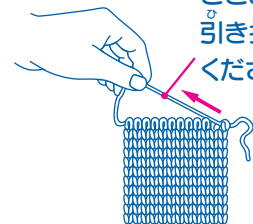
※1列目は内側にたらしした毛糸を軽く引っ張って編みましょう。

★注意：ハンドルが止まるまでは反対方向にハンドルをまわさないでね。

5 ダイヤルを輪あみ(W)に合わせて、編み地をとりはずします。2ページの「編み終わったら」と同じ方法ではずしてね。



この毛糸を引き抜いてください。



平あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方

平あみの編み終わりのしまつの仕方

★注意：編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけますので、弱くつけましょう。

- ① 編み終わりの毛糸を毛糸針に通し、輪になっているすべての編み目に、毛糸針を通します。
- ② 図のように毛糸の輪をつくり、毛糸針を通して結びます。  
※しぼらないように注意しましょう。
- ③ 毛糸が残ったら、編み地の中へ少し縫いこみ、残った毛糸は切りましょう。

平あみの編みはじめのしまつの仕方

- ① 編みはじめの毛糸を毛糸針に通します。
- ② 毛糸の輪をつくり、毛糸針を通して結びます。
- ③ 毛糸が残ったら、編み地の中へ少し縫いこみ、残った毛糸は切りましょう。

平あみで編んだ編み地を二つ折りにして両サイドをとじる処理法

- ① 毛糸針に毛糸を通し、図のように目を広げながら閉じていきます。

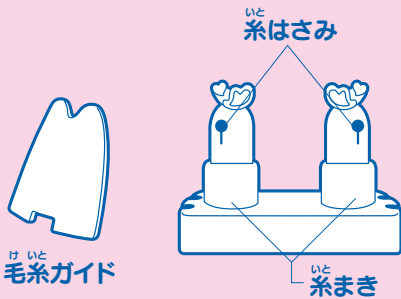


- ② 毛糸がつかないように引っ張り閉じます。



ポンポンのつくり方

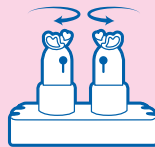
ポンポン糸巻



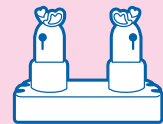
ポンポンの大きさがえらべます

糸まきをまわして、間隔を変えるとポンポンの大きさをえられます。

小 約5.5cmのポンポン

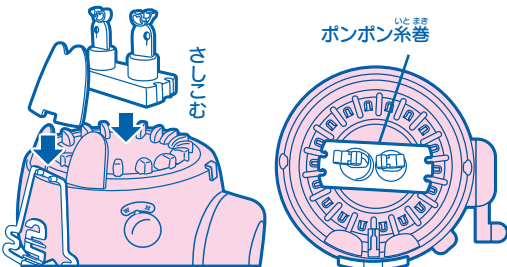


大 約6.5cmのポンポン



1 ポンポン糸巻をセットします

本体のフタをはずし、ダイヤルを輪あみにします。次にポンポン糸巻をシリンダーのツメの間にさしこみ、毛糸ガイドをとりつけます。

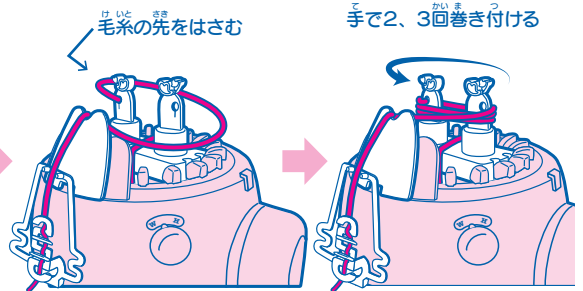
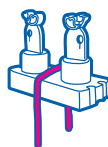


※ポンポン糸巻の上下を間違えないようにしてください。

2 毛糸をセットします

30cmくらいに切った毛糸を図のように置きます。毛糸の先を糸はさみの穴に入れ、下にさげて毛糸を固定したあと、手で2~3回巻き付けます。次に毛糸ガイドを通して、テンションに毛糸を通します。

30cmくらいに切った毛糸を図のように置きます。



### 3 毛糸を巻き付けます

ハンドルをくるくるまわして、ポンポン糸巻に毛糸を巻き付けていきます。適量の毛糸を巻き付けるには、ハンドルを50~100回くらいまわします。

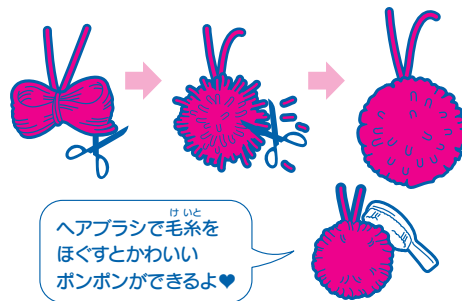


### 4 毛糸を結びます

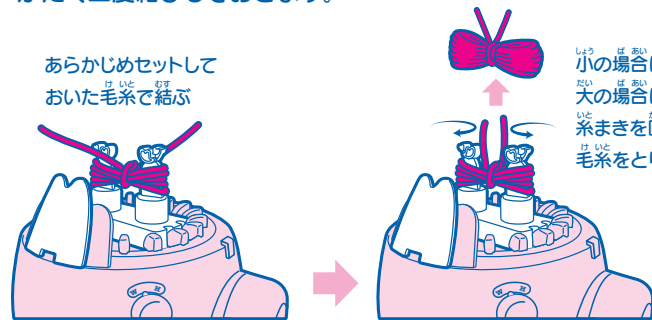
2でセットしておいた毛糸で、巻き終わった毛糸のたばの中央を軽く結び、糸まきを回転させてとりはずします。とりはずしてから、かたく二度結びしておきます。

### 5 形を整えます

はさみで毛糸のたばの両はしを切りひらいて球にしたら、つくりたい大きさに毛糸をはさみで整えてできあがり！



ヘアブラシで毛糸をほぐすとかわいいポンポンができるよ♡



小の場合は片方を、大の場合は両方の糸まきを回転させ、毛糸をとりはず

## ミニッコのポンポンマスコットのつくり方

#### 用意する物

- ☆市販のもの
- 毛糸 (各ミニッコの体と同じ色)
- フェルト
- ボンド
- はさみ

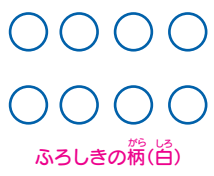
- 手と足のつくりかたは10ページを参考にしてください。
- 市販の毛糸でつくれるミニッコポンポンフィギュアに使用するフェルトパーツです。
- この図面を別の紙に写しとったものを型紙として使用してください。
- はさみで切る際には十分注意してください。

### フェルトパーツ

- たびおか
- えびふらいのしっぽ
- ふろしき



- ほこり
- ざっそう

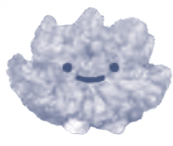


#### えびふらいのしっぽ



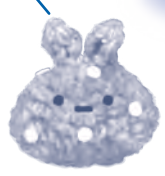
- ①黄色の毛糸でポンポンをつくります。
- ②体と同じ色の手と足をつくり縫い付けます。
- ③赤の毛糸をくさりあみしてえびのしっぽ部分を縫い付けます。

#### ざっそう



- ①黄緑の毛糸でポンポンをつくります。
- ②ざっそうの形に切り込みます
- ③黄色の毛糸をくさりあみして足をつくり縫い付けます。

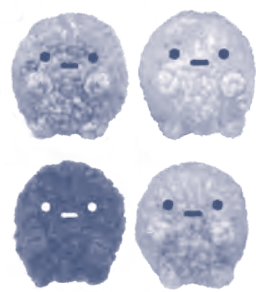
#### しほ 絞り部分



#### ふろしき

- ①ピンクの毛糸でポンポンをつくります。
- ②ピンク毛糸で絞り部分をくさりあみして縫い付けます。

#### たびおか



- ①つくりたいたびおかの体の色と同じ毛糸でポンポンをつくります。
- ②体と同じ色の毛糸をくさりあみして手と足をつくり縫い付けます。

- たびおか (ブルー) 水色の毛糸
- たびおか (イエロー) 黄色の毛糸
- たびおか (ピンク) ピンクの毛糸
- ブラックたびおか 黒茶の毛糸

#### ほこり



- ①グレーの毛糸でポンポンをつくります。
- ②茶の毛糸で足をつくり縫い付けます。

# すみっコぐらしのあみぐるみマスコットの作り方

## 用意する物

- ☆セット内……●毛糸 ●フェルト(目・口・鼻・耳・おなか・からだの模様) ●毛糸針 ●綿  
 ☆その他……●ボンド ●はさみ

※指定がない残り糸は結んで編み地の中に入れるか、縫い込みます。

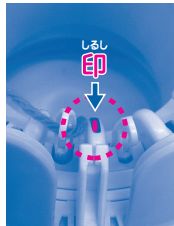
### 段数を数えやすくするために

油性ペンで印をつけます。

くわしい説明は1ページ

油性ペンで印をつけよう

を読んでください。



### 後処理をやすくするために

編み終わりの毛糸を輪に通しやすくするために、**作り方**に書かれている**段数は1段多くなっています**。各パーツ毎に本体で編み終わったら編み終わりを**1段ほど**いてから、後処理をしてください。  
 ※編み終わったら本体からはずして、**1段ほど**いてから**約20cm**のところをはさみで切ってください。  
 ※編みはじめは**約20cm**を本体中央にたらしってください。

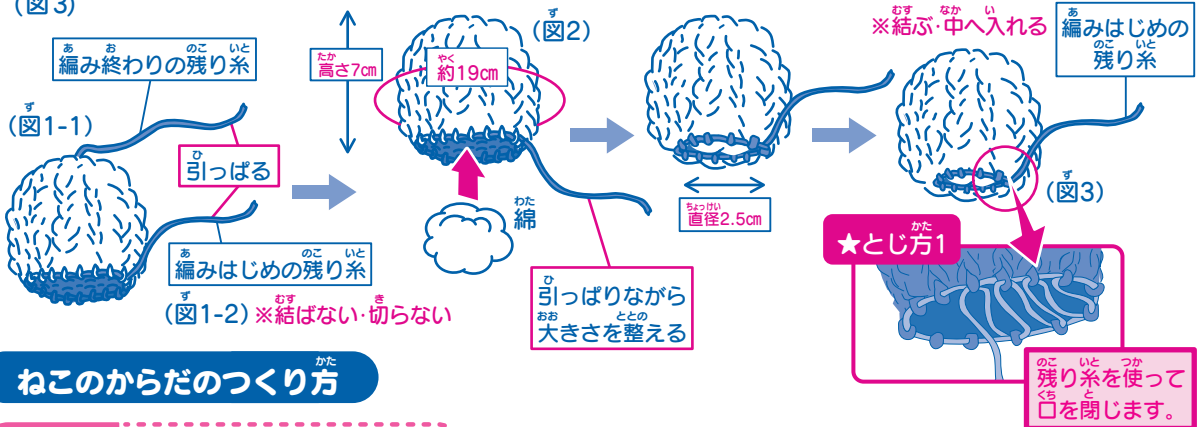
※指定がない残り糸は結んで編み地の中に入れるか、縫い込みます。 ※セットした毛糸は段数に合いません。

## とんかつ・ペンギン?のからだの作り方

**とんかつ** (茶の毛糸/輪あみ) **ペンギン?** (黄緑の毛糸/輪あみ) ※作り方は同じです。

- ① ダイヤルを輪あみにして**16段**編みます。編み地を本体からはずして、**1段**ほどきます。※とんかつは**15段**編みます。
- ② 3ページの「輪あみの編み終わりのしまつの仕方(しぼる場合①②③④⑤)」の方法でしまつします。(図1-1)
- ③ 編みはじめの残り糸も引っぱって、**口の大きさが編み地の幅と同じ**ぐらいになるようにしぼります。糸は**結ばず**残します。(図1-2)
- ④ 編み地に綿を詰め、残り糸を引っぱりながら、からだの形の**高さ約7cm**・からだの**周り約19cm**に整えます。(図2)
- ⑤ 綿を詰めた口が直径2.5cmになるようにしぼり、**編みはじめの残り糸を使って**閉じます。残り糸は**結んで**中に入れます。

(図3)



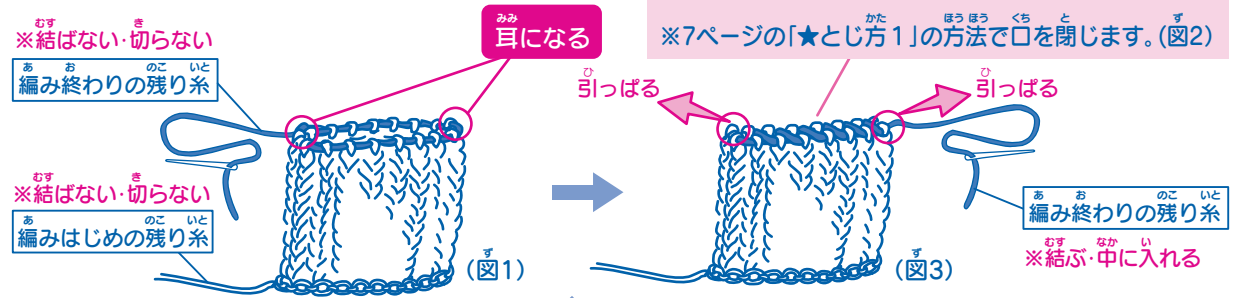
## ねこのからだの作り方

**ねこ** (クリーム色の毛糸/輪あみ)

- ① ダイヤルを輪あみにして**17段**編みます。編み地を本体からはずして、**1段**ほどきます。
- ② 3ページの「輪あみの編み終わりのしまつの仕方」で、残り糸を輪になっている編み目に**1周**通します。糸は**結ばず**残します。
- ③ 編み終わりの糸を引っぱりながら、**四角い編み地**になるように整えます。糸は**結ばず**残します。(図1)

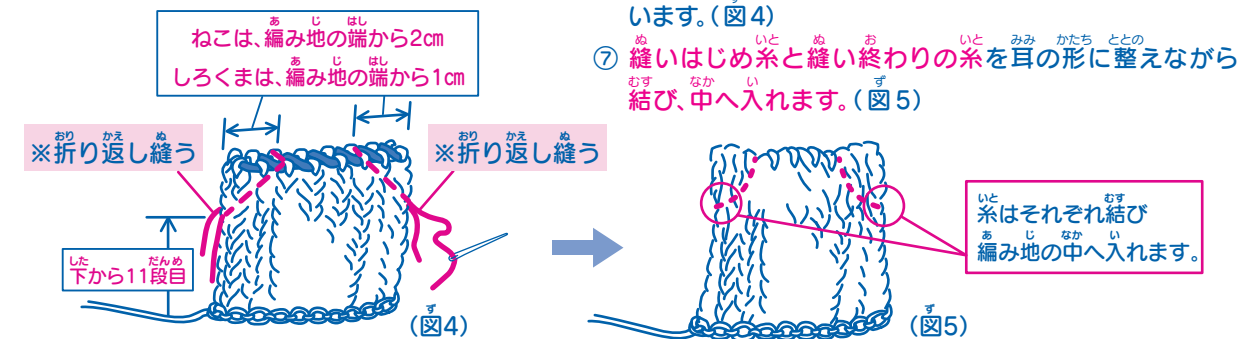


- ④ 編み終わりの残り糸を使って7ページの「★とじ方1」の方法で口を閉じます。(図2)
- ⑤ とじ終わったら、耳になる両方の角を引っ張り、ねこの耳の先が、とがるように整えます。(図3) 残り糸は結んで中に入れます。



- ⑥ ねこの耳を作るため、別の糸で編み地の下から11段目からねこは耳の角から2cm(しろくまは1cm)まで縫います。そこから、縫いはじめまでもう一度、戻るように折り返し縫います。(図4)

- ⑦ 縫いはじめ糸と縫い終わりの糸を耳の形に整えながら結び、中へ入れます。(図5)

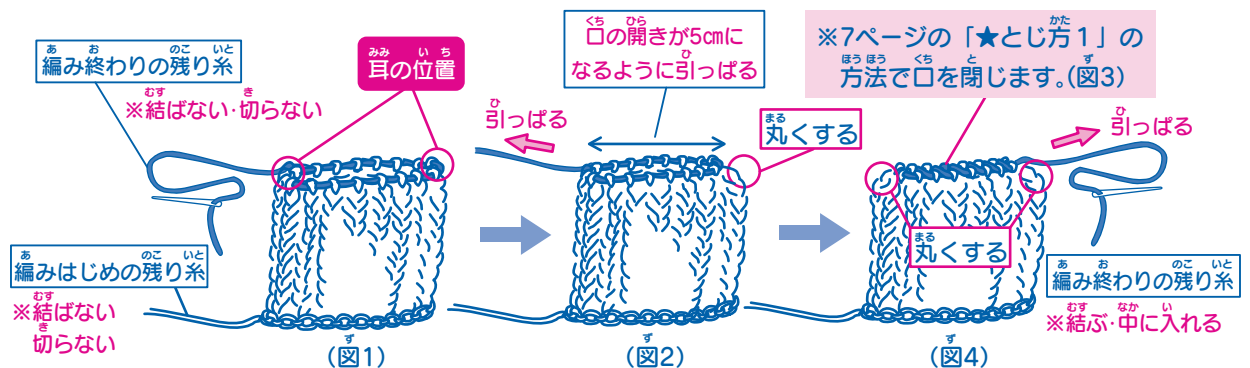


- ⑧ とんかつ・ぺんぎん?のからだのつくり方③④⑤と同じ方法で綿を詰め、ねこのからだを仕上げます。

## しろくまのからだのつくり方

### しろくま (白の毛糸/輪あみ)

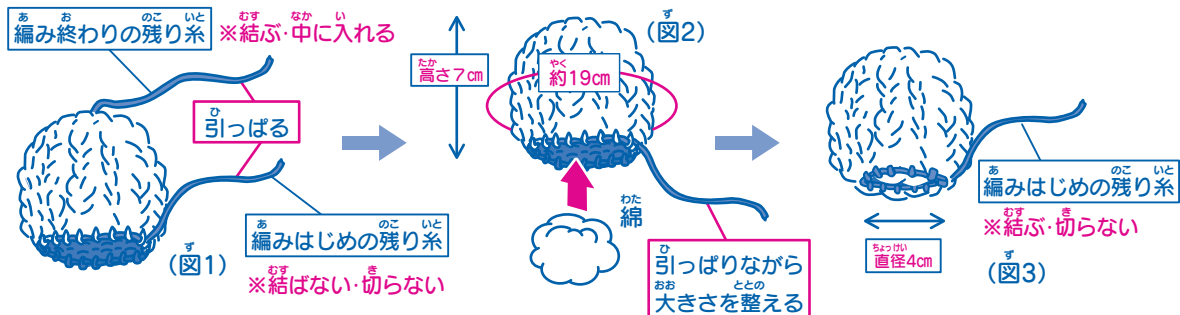
- ① ねこのからだのつくり方①～③までと同じ方法で作ります。(図1)
- ② たたんだ編み地の口の長さが約5cmになるまで編み終わりの糸を少しづつ引っ張り、耳の位置を丸くします。(図2)
- ③ 編み終わりの残り糸で7ページの「★とじ方1」の方法で口を閉じます。残り糸は結ばず、残します。(図3)
- ④ 残り糸を少しづつ引っ掛けて、②で丸くした角と同じように反対側の角も丸くします。残り糸は結び中へ入れます。
- ⑤ ねこのからだのつくり方⑥⑦の方法でしろくまの耳を仕上げます。(図4)
- ⑥ とんかつ・ぺんぎん?のからだのつくり方③④⑤と同じ方法で綿を詰め、しろくまのからだを仕上げます。



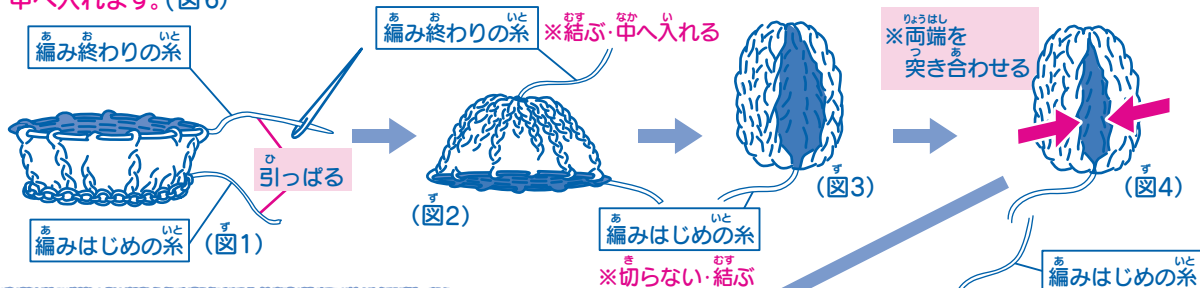
# とかげのからだのつくり方

## とかげ・しっぽの詰め物 (水色の毛糸/輪あみ)

- ① ダイヤルを輪あみにして17段編みます。編み地を本体からはずして、1段ほどきます。
- ② とんかつ・ぺんぎん?のからだのつくり方②③と同じ方法でつくります。(図1)
- ③ 編み地に、綿を詰め、編みはじめの残り糸を引っ張りながら、からだの高さ約7cm・からだの周り約19cmに整えます。
- ④ 綿を詰めた口を直径4cmになるようにしぼり、糸は結び残します。(図3)(図2)

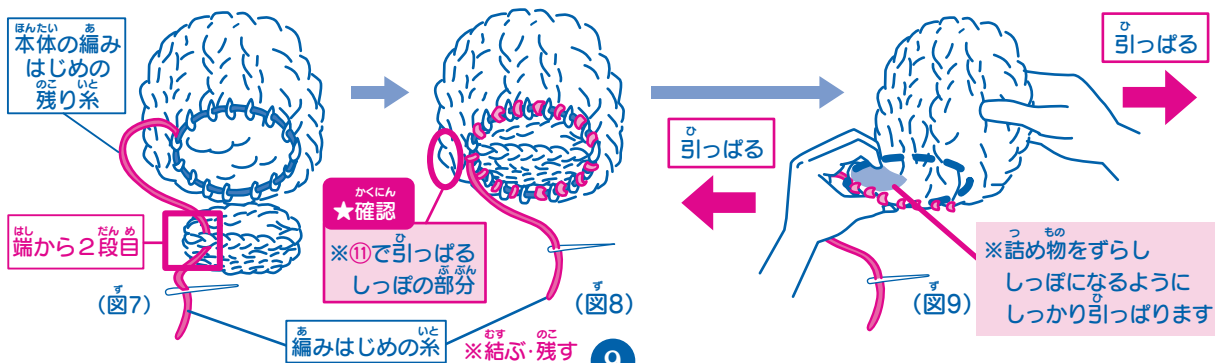


- ⑤ とかげのしっぽの詰め物をダイヤルを輪あみにして10段編みます。編み地を本体からはずし、1段ほどきます。
- ⑥ 3ページの「輪あみの編み終わりのしまつの仕方(しぼる場合①②③④⑤)」でしまつします。(図1・2)
- ⑦ 編みはじめの残り糸も引っばってしぼります。糸は結び残します。(図3)
- ⑧ 編み地の両端を突き合わせ(図4)残り糸で縫い合わせます。(図5)長さ5cm・編み地周り8cmに整え、糸は結んで中へ入れます。(図6)

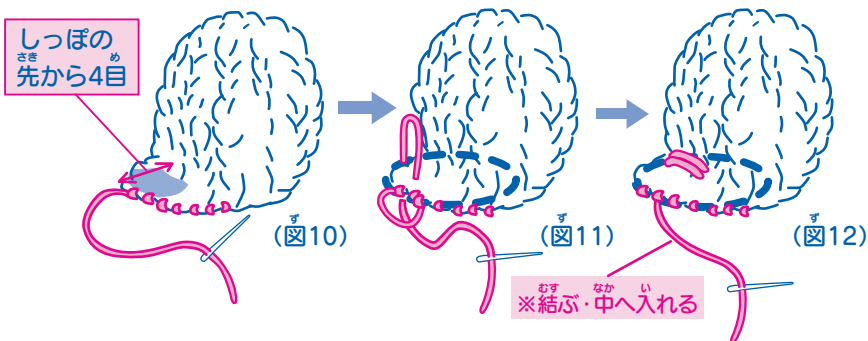


## とかげ本体にしっぽの詰め物を入れます

- ⑨ ⑧でつくったしっぽの詰め物の合わせ目のない面の端から2段目(図7)に本体の残り糸(図では、わかりやすく赤で表示しています。)を通します。
- ⑩ 糸を通した面を外側にして、底(おしり)が平らになるように、本体の口へ入れ、しっぽの詰め物と口を縫います。糸は結び、残します。(図8)
- ⑪ ⑩で縫い付けた、しっぽの詰め物を本体の中ですらししっぽになるように、しっかり引っばります。(図9)  
※引っ張る位置は(図8)の★部分を確認する。



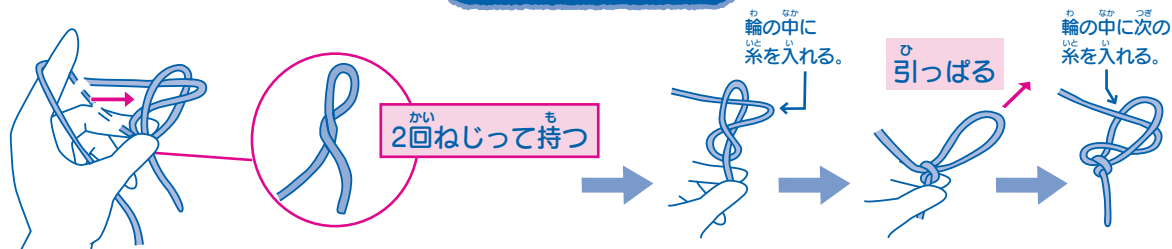
- ⑫ ひっぱったしっぽの先から約4目のところを残りの糸で(図10~12)のように2回縫ってしっぽを固定します。残り糸は結んで本体の中に入れます。



## 手・足・しっぽの作り方

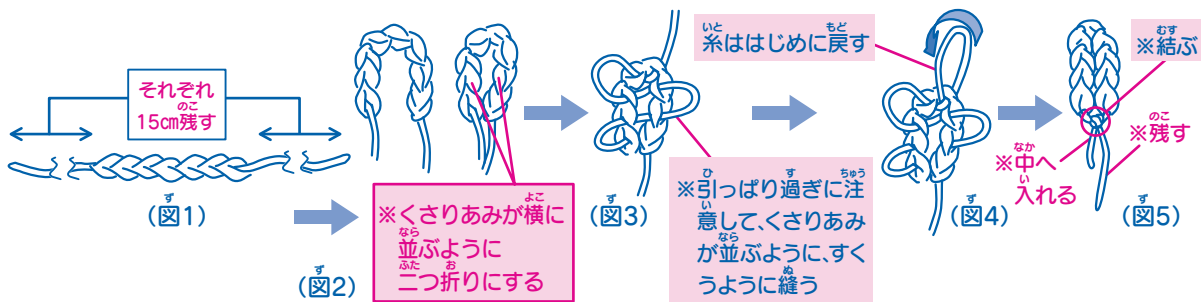
※毛糸の色はそれぞれの本体の色と同じです。くさりあみでつくります。

### くさりあみの作り方



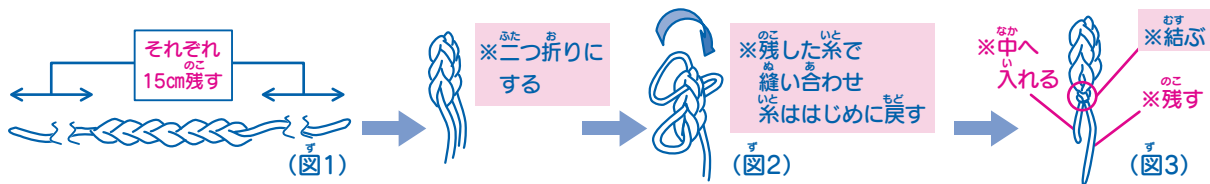
## 足/しろくま・ねこ・ぺんぎん?・とんかつ・とかげ (各本体の色と同じ毛糸/くさりあみ)

- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさりあみで9目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図1)
- ② くさりあみが並ぶように二つ折りにし(図2) 残した毛糸で引っ張り過ぎに注意しながら、となりあった、くさりあみをすくうように、縫い合わせます。(図3) 端まで縫い終わったら、糸をくさりあみの中へ通して、縫いはじめに戻します。(図4)
- ③ ②で戻した糸ともう一方の糸を結び、短い方をくさりあみの中へ入れます。長い方は残します。(図5) 同じものを2本つづ作ります。



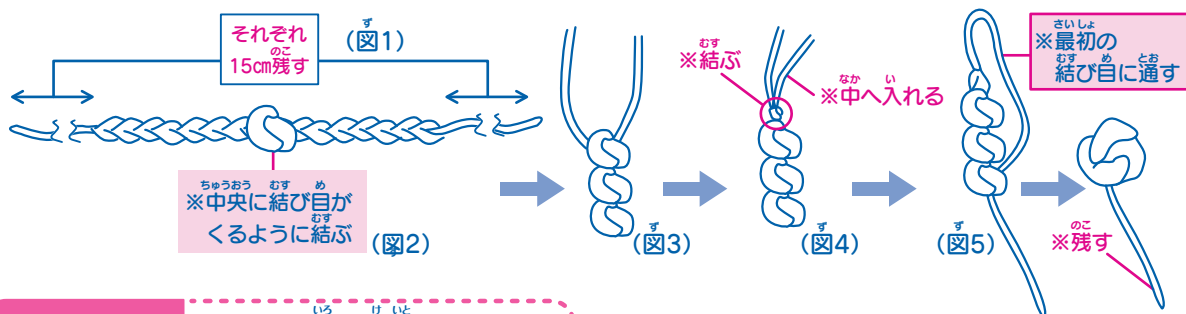
## 手/しろくま・ねこ・ぺんぎん?・とんかつ・とかげ (各本体の色と同じ毛糸/くさりあみ)

- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさりあみで7目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図1)
- ② くさりあみを二つ折りにして、残した毛糸で縫い合わせます。端まで縫い終わったら、糸をくさりあみの中へ通して、縫いはじめに戻します。(図2)
- ③ ②で戻した糸ともう一方の糸を結び、短い方をくさりあみの中へ入れます。長い方は残します。(図3) 同じものを2本つづ作ります。



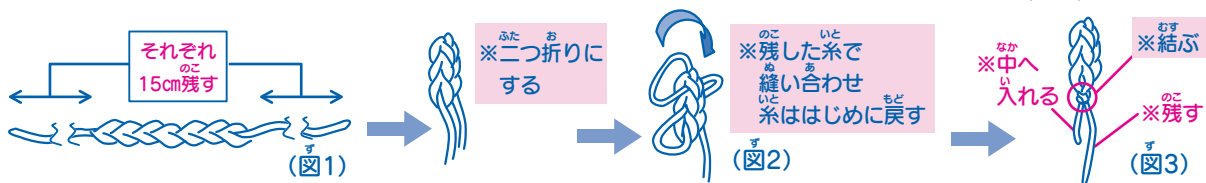
### しっぽ／しろくま (白の毛糸/くさりあみ)

- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさりあみで16目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図1)
- ② くさりあみのひもを(図2)のように結び目が中央にくるように結びます。同じようにあと2回結びます。(図3)
- ③ くさりあみの両端に残した糸を結び1本は、くさりあみの中へ入れます。(図4)
- ④ 残りのもう1本は最初の結び目に通し引っぱり、しろくまのしっぽをつくります。糸は切らずに残します。(図5)。



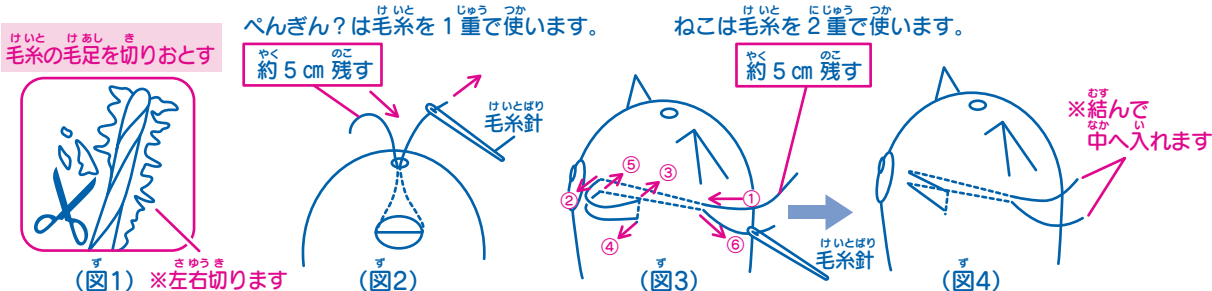
### しっぽ／ねこ (クリーム色の毛糸/くさりあみ)

- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさりあみで9目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図1)
- ② くさりあみを二つ折りにして、残した毛糸で縫い合わせます。端まで縫い終わったら、糸をくさりあみの中へ通して、縫いはじめに戻します。(図2)
- ③ ②で戻した糸ともう一方の糸を結び、短い方をくさりあみの中へ入れます。長い方は残します。(図3)。



### ぺんぎん?のくちばし/ねこのひげ

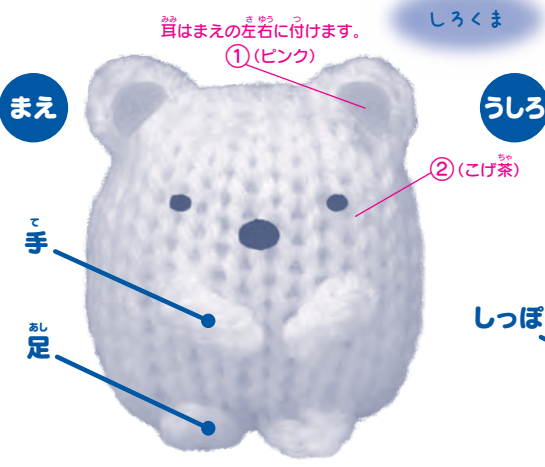
- ① ペンギん?、ねことも、とんかつの茶の毛糸を使います。毛糸の毛足をさみで切りおとして、使います。(図1)
- ② ペンギん?のくちばしは、糸を約5cm残して、頭のてっぺんのしぼり口から入れ、フェルトのくちばしの上を通し頭のしぼり口へ出します。(図2)糸を結んで中へ入れます。



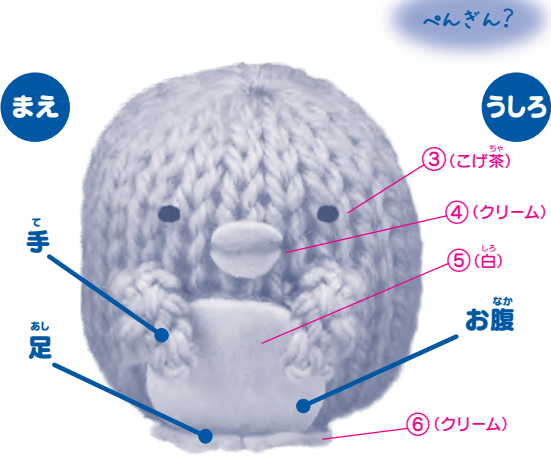
- ③ ねこのひげは、写真を参考しながら、糸を約5cm残して耳の下、2目のところから①～⑥の順に糸を通して2本のひげにします。(図3) もう片方のひげも同じように縫います。糸は結んで中に入れます。(図4)

ほんたい て あし  
**本体に手・足・しっぽ・フェルトパーツをつけます**

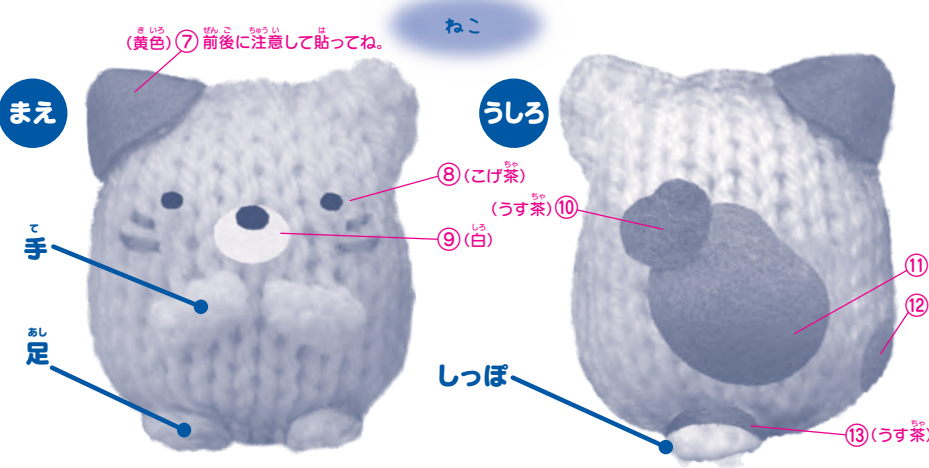
- ① それぞれ手・足・しっぽは写真を参考に本体に縫い付けます。縫い付けにはそれぞれの残り糸を使います。  
 ② フェルトパーツをそれぞれの写真を参考に本体に貼り付けます。縫い付けた手から近いところから貼り付けます。



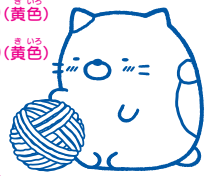
しろくまのはなを  
 ちゅうしん へ  
 中心に貼ってから、  
 め へ  
 目を貼ると、  
 かおがつくりやすいよ♪



くちばしを めじらし  
 目に  
 め へ  
 目を貼ろう!  
 なか へ  
 お腹を先に貼ってから  
 あし へ  
 足を貼ってね☆



ねこの鼻と鼻の周りを  
 ちゅうしん へ  
 くっつけ中心に貼ってね。  
 みみ へ  
 耳はまえから見て  
 ひだりみみ へ  
 左耳に包むように貼ろう♪



とんかつ

まえ

うしろ

て

あし

⑭ (こげ茶)

⑮ (ピンク)

くち ちゅうしん ほ  
口を中心に貼ってから  
め ほ  
目を貼ると表情が  
つくりやすいよ♪毛糸が  
ふわふわなのでしっかり  
貼ろう!



とろろ

まえ

うしろ

て

あし

⑯ (こげ茶)

⑰ (白)

⑱ (水色)

くち ちゅうしん ほ  
口を中心に貼ってから  
め ほ  
目を貼るとやりやすいよ!  
せ  
背ひねりうしろのしっぽより  
うえ ちゅうしん  
上の中心につけてね♪



# すみっコあみぐるみマスコットのできあがりっ♪

みにっコポンポンマスコットとあわせれば  
すみっコの世界が広がるよ!



たひおか  
いはい!



やっぱりミニがおちつくんです

あのシーンを  
再現  
できちゃう?!

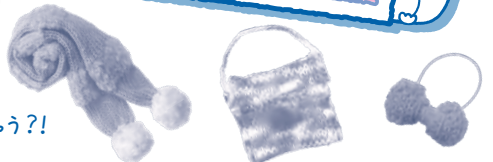
すわた  
うしろ姿が  
とっても  
キュート♡



ほこ  
箱に  
ぎゅうぎゅう  
すみっコ

おうちにある  
毛糸でも  
いろんなものが  
つくれるよ!

すみっコあみぐるみマスコットがつかれたら、  
他の物にもチャレンジしてみてね!  
アイデア次第でこんな毛糸アイテムもつくれちゃう?!

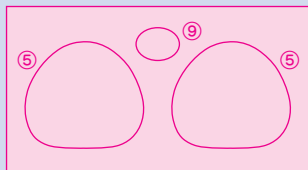


セット内容でつくれるすみっコあみぐるみフィギュアで使用するフェルトパーツです。

この図面を別の紙に写しとったものを型紙として使用してください。はさみで切る際には十分注意してください。

### フェルトパーツ配置の仕方

#### 白のフェルト



- ⑤ ぺんぎん? & とかげのお腹
- ⑨ ねこの鼻の周り

#### うす茶のフェルト



- ⑬ ねこのしっぽ
- ⑩ ねこの背中の柄小サイズ

#### 黄色のフェルト



- ⑪ ねこの背中の柄大サイズ
- ⑫ ねこの脇の柄
- ⑦ ねこの耳(前後に注意。)

#### ピンクのフェルト



- ⑮ とんかつの口
- ① しろくまの耳×2

#### 水色のフェルト



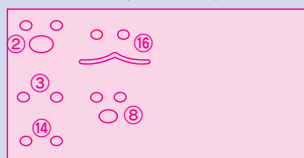
⑰ とかげの背びれ

#### クリーム色のフェルト



- ⑥ ぺんぎん? の左足
- ⑥ ぺんぎん? の右足
- ④ ぺんぎん? のくちばし

#### こげ茶のフェルト



- ② しろくまの目・鼻
- ③ ぺんぎん? の目
- ⑭ とんかつの目
- ⑧ ねこの目・鼻
- ⑬ とかげの目・口

ページの各キャラの番号を参考にフェルトパーツを貼り付けてください。一部余分にフェルトが余るようになっています。

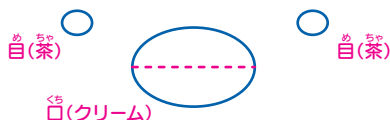
----- 口の線の位置

ぺんぎん?

しろくま

----- ひげの位置

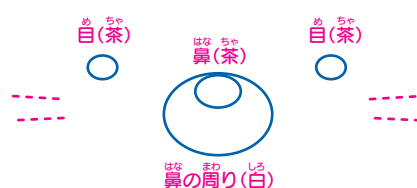
ねこ



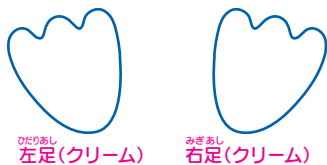
口(クリーム)



鼻(茶)



鼻の周り(白)



左足(クリーム)

右足(クリーム)



耳(ピンク)×2

しっぽ(うす茶)



脇の柄(黄色)

背中の柄大サイズ(黄色)

お腹(白)

※お腹は、ぺんぎん?・とかげ共通です。

耳の柄(黄色)

背中の柄小サイズ(うす茶)

背びれ(水色)

とんかつ

とかげ



口(ピンク)



口(茶)

※背びれは2枚を貼り合わせてください。

# とってもカンタンに編みものができるよ♪



カワイクラッピングして  
友だちにプレゼントしちゃお♡



## あむあむたまごボンボン Q&A

**Q.うまく編めない。**

A.1ページめの「毛糸をセットしましょう」をよく読んでからはじめてください。

**Q.目が飛んでしまいます。**

A.毛糸を引っぱらないように、テンションにかけてから、一定の速度でハンドルをまわし、毛糸の状態を確認しながら編んでください。輪あみの場合は、ハンドルを逆まわしにしないでください。

**Q.毛糸がテンションや針の中からまっすぐにまわらなくなりました。**

A.セット内容の毛糸針で編み目をゆるめてはずしてください。毛糸は十分ほぐし、からまらないように注意して編んでください。

**Q.毛糸玉を編む前にほぐさないで、そのまま編んでしまいハンドルをまわしたらカチカチと音がした。**

A.毛糸がテンションに引っかかり安全装置がはたらきカチカチと音がします。

1ページめの「毛糸をほぐしましょう」を読んでから編みはじめてください。

**Q.毛糸の結び目がテンションに通らず引っかかってしまった。**

A.結び目は小さくし、余分な毛糸は切ってください。2ページめの「毛糸がなくなりそうになったら、色をかえたいときは…」をよく読んでください。

**Q.付属の毛糸以外で編めますか？**

A.付属の毛糸に近い並太を使用してください。

**Q.あみぐるみ以外のものはできますか？**

A.できます。いろいろアレンジしてください。

シリンダーが止まりハンドルだけが  
まわっている状態

こんなとき安全装置がはたらきカチカチと音がします。

- きりかえダイヤルを平あみ(H)に合わせ、ハンドルをまわし、止まってもまわし続けたとき。
- 並太毛糸より太い毛糸などを使って、きつくなってもハンドルをまわし続けたとき。

家庭用品品質表示法に基づく表示

毛糸:アクリル系100% 表示者:株式会社タカラトミー 0570-041031

タカラトミーでは「子どもたちに安全で楽しいおもちゃと夢を」を第一に考えております。そのため、常に製品に対し研究、改良を行っており、お買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの写真やイラストなどと異なる場合がございますがご了承ください。製品につきましても、万全の注意をはらって製造に当たっておりますが、万一お気付きの点がございましたら下記までご連絡ください。

※タカラトミーグループ お客様相談室 おかけ間違いのないようご注意ください

**0570-041031**

電話受付時間 10~17時

月曜日~金曜日(土日・祝日を除く)

<http://www.takaratomy.co.jp/support/index.html>

発売元:株式会社 タカラトミー

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10

© TOMY

●たのしいタカラトミーの情報はインターネットで <http://www.takaratomy.co.jp>